

法華経 日めくり

令和5年 癸卯

2023年

2月

1日

大安 鬼

旧1月11日

水曜

妙法蓮華経序品第一

天雨 てんぬ 曼陀羅華 まんだらけ 摩訶曼陀羅華 まかまんだらけ

曼殊沙華 まんじゆしゃげ 摩訶曼殊沙華 まかまんじゆしゃげ

「天から華の雨が降る」

「曼陀羅華」は白い蓮の華、「摩訶曼陀羅華」は大きな白い蓮の華、「曼殊沙華」は赤い蓮の華、「摩訶曼殊沙華」は大きな赤い蓮の華のこと。それらの華が天から雨のように降ってきたということは、世の中のありとあらゆるものが仏の教えに帰依し、感激した証です。また、降り注いだ華は仏さまと縁を結んだことを意味し、皆いつか仏に成り得るのだということも表しています。

法華経 日めくり

令和5年 癸卯

2023年

2月

赤口 柳

旧1月12日

月曜

2日

妙法蓮華経序品第一

ろく しゅ しん どう
六種震動

「大地も感動に震える」

大地が震動するというのは、仏の教えがあらゆるものを残らず感動させたということです。

縦横斜めなどの六種の揺れや音声が、仏法を聞く衆生の覚悟を呼び起こします。

仏さまが教えを説くときには六種の震動が起きるので、法華経を説く際には特に大きく長い震動が起きたといわれています。

迷いの多い世の中にこそ仏さまの救いが必要であることを示しています。

法華経 日めくり

令和5年 癸卯

2023年

2月

節分 先負 星

旧1月13日

3

日

火曜

妙法蓮華経序品第一

比丘びく比丘尼びくに 優婆塞うばそく 優婆夷うばい

「修行者と信者のために法を説く」

「比丘」は男性出家者、「比丘尼」は女性出家者。

「優婆塞」は男性信者、「優婆夷」は女性信者。

この仏の教えに帰依した四種の人々を「四衆」といい、経典の随所で「四衆」に法を説く場面が描かれています。

「比丘比丘尼」は教団内で修行に専念する者です。仏教に帰依した在家信者の「優婆夷 優婆塞」が、比丘比丘尼に衣食住などを布施をして教団は構成され維持されてきました。

法華経 日めくり

令和5年 癸卯

2023年

2月

4日

立春 友引 張

旧1月14日

土曜

妙法蓮華経序品第一

天龍 夜叉 乾闥婆 阿修羅

迦楼羅 緊那羅 摩睺羅伽 人非人

「人も人に非ざる者も仏は救う」

「天龍」は天上界に住む者と海中に住む者、

「夜叉」は空中を飛び人を食う鬼のような者、

「乾闥婆 阿修羅 迦楼羅 緊那羅」はインド

神話の神々、「摩睺羅伽」は地上を這う蟲の類。

この八種を「八部衆」といい、經典の随所で説

法の会座に連なっています。

「人非人」の「人」は「四衆」、「非人」は「八

部衆」のことをさし、仏さまの救いは人に限定

されないことを示しています。

法華経 日めくり

令和5年 癸卯

2023年

2月

5日

立春 先負 翼

旧1月15日

日曜

妙法蓮華経序品第一

てん りん じょう おう

転輪聖王

「徳の高い王とその国民も法華経に帰依をした」

「転輪聖王」はインドで古来から信じられていた全世界を統一する理想の国王のこと。

この王が行くところ、天から授けられた「輪宝」という宝が自然と回転し王を守護して、小国を降伏させ、正しい統治を行なうので「転輪聖王」といわれます。

徳の高い王も、王が治める国の住民たちも皆、仏さまの教えに帰依し、感激して手を合わせたのでした。

法華経 日めくり

令和5年 癸卯

2023年

2月

6日

仏滅 軫

旧1月16日

月曜

妙法蓮華経序品第一

歡かん喜ぎ合がっ掌しょう

「仏さまの教えに出会う感謝と喜びの合掌」

「合掌」は帰依する気持ちを表す動作で、言葉にするときは「南無」と言います。

「南無」は帰命という意味ですが、敬う、願う、信じるという意味が含まれています。

「南無妙法蓮華経」と合掌して唱える時には仏さまを敬い、その救済の力が自分に与えられるようにと願い、信じることが大切です。

仏さまの教えにふれたときには、感謝と喜びの合掌を捧げましょう。

法華経 日めくり

令和5年 癸卯

2023年

2月

7

日

大安 角

旧1月17日

火曜

妙法蓮華経序品第一

びやく ごう
そう
こう
白毫相光

「仏さまの智慧の光に照らされる」

「白毫」とは仏さまに具わる三十二相といわれるお姿の特徴の一つで、額の中央で右に渦巻いている白い毛のことです。

「白毫相」は人々を救う智慧のはたらきを意味します。白毫から発せられた光は世界を照らし、物事の真実が見えてくると、私たちの迷いも取り除かれます。

しかし心が曇っていては光が届きません。

仏さまの教えを学び、雲を追い払いましょう。

妙法蓮華經。序品。第一

〈略〉

爾時世尊。四衆圍繞。供養恭敬。尊重讚歎。為諸菩薩。說大乘經。名無量義。教菩薩法。仏所護念。仏説此經已。結跏趺坐。入於無量義処三昧。身心不動。是時天雨曼陀羅華。摩訶曼陀羅華。曼殊沙華。摩訶曼殊沙華。而散仏上。及諸大衆。普仏世界。六種震動。爾時會中。比丘。比丘尼。優婆塞。優婆夷。天。龍。夜叉。乾闥婆。阿修羅。迦樓羅。緊那羅。摩睺羅伽。人非人。及諸小王。轉輪聖王。是諸大衆。得未曾有。歡喜合掌。一心觀仏。爾時仏放。眉間白毫相光。照東方万八千世界。靡不周徧。下至阿鼻地獄。上至阿迦尼吒天。於此世界。尽見彼土。六趣衆生。又見彼土。現在諸仏。及聞諸仏。所説經法。竝見彼諸。比丘。比丘尼。優婆塞。優婆夷。諸修行得道者。復見諸菩薩摩訶薩。種